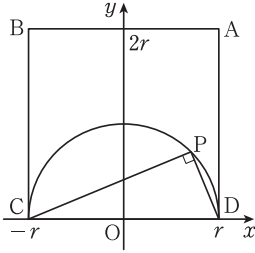


**1** 正方形 ABCD の内部の点 P に対して  $\angle CPD$  が直角であるとき、 $\frac{BP}{AP}$  の最大値を求めよ。  
 (16 愛媛大・医)

**1** 数学Ⅲ 【最大値・最小値】 標準

**▶解答◀** 正方形の1辺の長さを  $2r$  とし、図のように座標を定める。  $\angle CPD = 90^\circ$  だから P は半円  $x^2 + y^2 = r^2, y > 0$  上にある。



$x > 0$  のときは

$$BP > AP \quad \therefore \frac{BP}{AP} > 1$$

$x \leq 0$  のときは  $\frac{BP}{AP} \leq 1$  だから最大を考える場合、 $0 < x < r$  で考える。

$$\begin{aligned} AP^2 &= (x-r)^2 + (y-2r)^2 \\ &= x^2 + y^2 - 2rx - 4ry + 5r^2 \\ &= r^2 - 2rx - 4ry + 5r^2 = 6r^2 - 2rx - 4ry \end{aligned}$$

同様に

$$BP^2 = (x+r)^2 + (y-2r)^2 = 6r^2 + 2rx - 4ry$$

となる。

$$\frac{BP^2}{AP^2} = \frac{3r+x-2y}{3r-x-2y}$$

ここで  $x = r \cos \theta, y = r \sin \theta \left( 0 < \theta < \frac{\pi}{2} \right)$  とおく。

さらに  $c = \cos \theta, s = \sin \theta$  と略記する。

$$\frac{BP^2}{AP^2} = \frac{3+c-2s}{3-c-2s} = f(\theta)$$

とおく。  $f'(\theta)$  の分母は  $(3-c-2s)^2$  で、分子は

$$\begin{aligned} &(-s-2c)(3-c-2s) - (3+c-2s)(s-2c) \\ &= 3(-s-2c) - 3(s-2c) \\ &\quad + (s+2c)(c+2s) + (c-2s)(2c-s) \\ &= 4 - 6s = 2(2-3s) \end{aligned}$$

となる。  $\sin \alpha = \frac{2}{3}, 0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$  として次のように増減し、  $f(\theta)$  は  $\theta = \alpha$  で最大になる。

$\theta$	0	...	$\alpha$	...	$\frac{\pi}{2}$
$f'(\theta)$		+	0	-	0
$f(\theta)$		↗		↘	

$$\cos \alpha = \sqrt{1 - \sin^2 \alpha} = \frac{\sqrt{5}}{3}$$

$$f(\alpha) = \frac{3 + \cos \alpha - 2 \sin \alpha}{3 - \cos \alpha - 2 \sin \alpha}$$

$$= \frac{3 + \frac{\sqrt{5}}{3} - \frac{4}{3}}{3 - \frac{\sqrt{5}}{3} - \frac{4}{3}} = \frac{\sqrt{5}+1}{\sqrt{5}-1} = \frac{(\sqrt{5}+1)^2}{4}$$

$\frac{BP}{AP} = \sqrt{f(\theta)}$  の最大値は  $\frac{\sqrt{5}+1}{2}$  である。

**注** 直線  $3r+x-2y = t(3r-x-2y)$  が四分円  $x^2+y^2=1$  と第一象限で接する条件から求めることもできる。